

E V E N T R E P O R T

夏の体験入学2016

**担当教員** 2016年度担当教員  
総研大物理科学研究科構造分子科学専攻 准教授 古谷 祐詞

2016年8月8日(月)から11日(木)までの4日間、分子科学研究所(分子研)において、第13回総合研究大学院大学(総研大)夏の体験入学が開催されました。本体験入学は、他大学の学部学生・大学院生を対象とするもので、各研究室での体験学習を通じて、特に、最先端の研究に触れることで、分子研(総研大物理科学研究科構造分子科学専攻・機能分子科学専攻)における研究環境や設備、大学院教育、研究者養成、共同利用研究などの活動を知ってもらい、分子研や総研大への理解を広げてもらうことを目的としています。

本年度は例年以上の多数の申込(52名)があり、選考の結果、26名の学生(学部学生21名、大学院修士課程学生5名)を受入れることにしました。選考においては、学部3年生、4年生、修士1年生など大学院への進学が近い学生を優先しました。初日には、午後から明大寺地区でオリエンテーションを開催しました。総研大・分子研の紹介に続き、各実施グループによる体験

プログラムの紹介を行いました。その後、UVSORと計算科学研究センターにおいて施設見学を行いました。9日、10日の2日間は、各グループにおける体験プログラムの実施に割り当てられました。最終日の11日には、2日間の体験プログラムの結果を個別に発表してもらいました。発表内容から、各グループにおいて充実した研究体験があったことが伺えました。実施したアンケートでは、それぞれの研究分野に対する興味が増したなど、研究体験が有意義と感じたとの回答が多数ありました。また、大学と比較して、自主性が重んじられる、教授との距離が近い、研究に専念する環境としては適しているなど、研究環境として魅力を感じるという回答が多数でした。一方、専門的な知識や実験に関する知識が不足しているため体験内容が難しいと感じたなどのコメントもありました。進路について、総研大を選択肢の1つとして考えている学生が19名いました。これまで2010年~2015年の間に夏の体験入学やオープンキャンパスに参



加した学生の内、11名が総研大に入学しています。今後も参加した学生の方々が、総研大の大学院生や他大学からの特別共同利用研究員となって、分子研で研究することを願っています。

今年から山の日が施行され、休日にもかかわらず様々な方々にお手伝いをいただきました。最後に、本事業にご協力いただきました全ての先生方、関係者の皆様方にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

E V E N T R E P O R T

## 総研大アジア冬の学校2016

**担当教員** 2016年度担当教員  
 総研大物理科学研究科機能分子科学専攻 准教授 椋山 儀恵

総研大アジア冬の学校が、平成28年12月14日（水）から15日（木）にかけて、岡崎コンファレンスセンターにおいて開催されました。総研大アジア冬の学校は、総研大物理科学研究科各専攻で行われている研究・教育活動を、アジア諸国の大学生・大学院生および若手研究者の育成に広く供することを目的として平成16年度に始まりました。今回で13回目になります。本年度は、構造分子科学専攻、機能分子科学専攻2専攻での開校となりました。アジア諸国から多数の応募があり、書類選考を経て、7名を受け入れました。海外からの参加者1名、所外の国内参加者1名、インターンシップの留学生6名、所内から52名の参加登録をいただきました。

構造分子科学専攻から石崎先生、機

能分子科学専攻から中村先生を講師としてお迎えし、「分子科学、新分野への挑戦」をテーマに、分子科学の基礎にはじまり、最先端の研究および将来展望が紹介されました。また、参加者によるポスター発表や歓迎会が行われました。短い開催期間でしたが、充実した内容となりました。

講義やポスター発表を通じ、物理

および化学の基礎から最新の研究成果まで学び知ることができたと思います。講師の先生方に深く感謝申し上げます。尚、本学校を開催するにあたり、分子科学研究所の担当委員の先生方、秘書、総研大生の多くの方々のご協力をいただきました。この場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。



### 平成28年度9月総合研究大学院大学修了学生及び学位論文名

専攻	氏名	博士論文名	付記する専攻分野	授与年月日
機能分子科学	Haesuwannakij, Setsiri	Size and Interfacial Effect on Gold Nanocluster Catalysts	理学	H28. 9.28
	Yan, Shuo	Development of Green-Sustainable Copper Catalysts Immobilized on Polystyrene-Based Resins to Achieve Efficient Organic Transformations	理学	H28. 9.28

### 総合研究大学院大学平成28年度(9月入学) 新入生紹介

専攻	氏名	所属	研究テーマ
機能分子科学	KALATHINGAL, Mahroof	理論・計算分子科学研究領域	Theoretical studies on ion permeation mechanism of the model channel Polytheonamide B
	SHEN, Guanshuo	生命・錯体分子科学研究領域	Development of asymmetric and heterogeneous catalysis for effective organic transformation
	HIRANYAKORN, Methanee	岡崎統合バイオサイエンスセンター	Dynamical ordering of Biomolecular Systems for Creation of Integrated Functions